長沼地区公共施設等整備（全体図）

令和6年度 第2回
長野市災害復興本部会議　資料1

企画政策部秘書課復興対策室

北

長沼保育園
令和5年4月開園

国道18号

【長沼小学校・保育園エリア】
旧保育園・児童センター跡地利用未定

旧長沼保育園・児童センター

長沼小学校

県道堤防強化

長沼体育館
令和4年8月オープン

児童センター
令和4年4月供用開始

【市道（仮称）長沼東西線（復興道路）】
【長沼135号線（小学校側）】

長沼支所（仮設）
体育館

決壊箇所（70m）

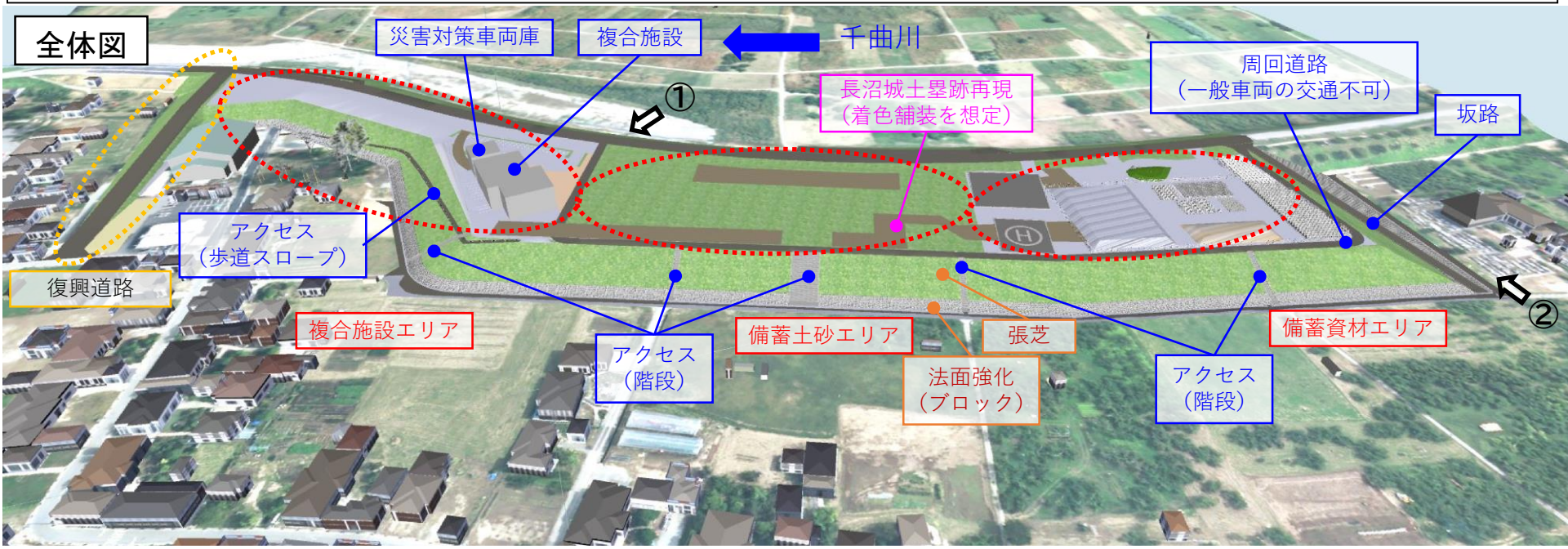
地盤改良工事
実施中（国・市）

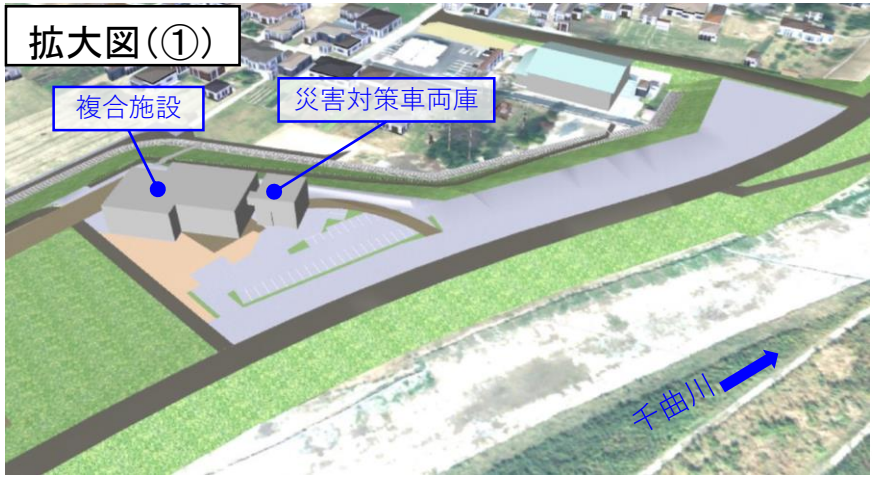
埋蔵文化財
発掘調査終了

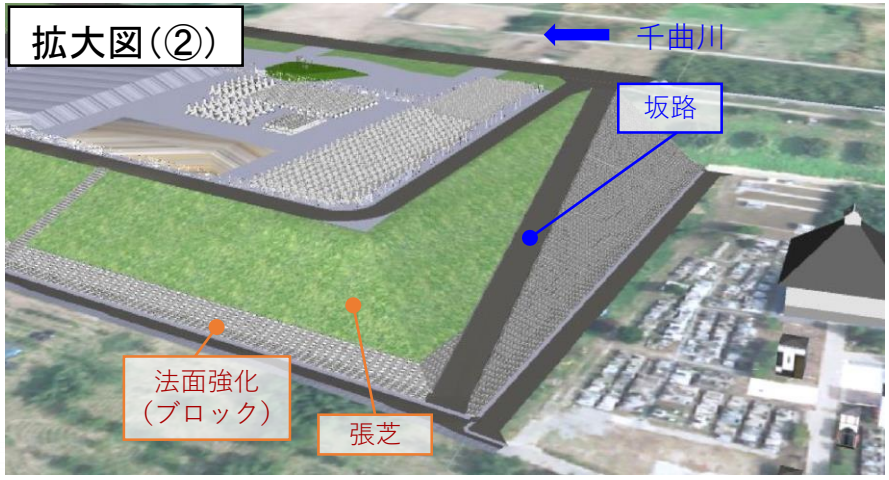
【長沼支所・交流センター
河川防災ステーションエリア】
・長沼支所・交流センター（水防センター）・分団詰所の複合化・移転（予定）

長沼地区河川防災ステーションの整備イメージ図

■これまでのご意見を踏まえた全体イメージパース図を国・長野市と連携し、作成。





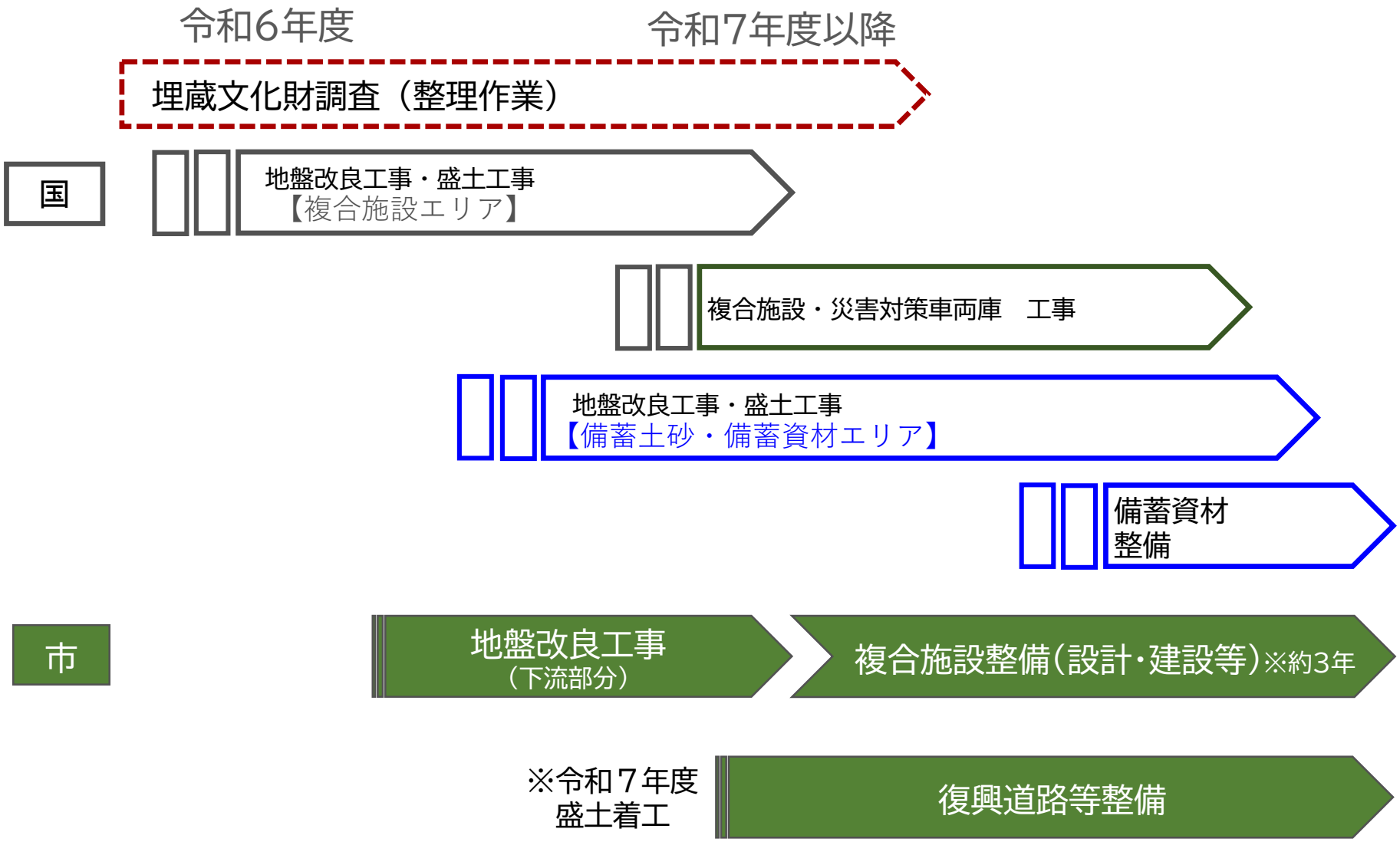


※詳細について今後変更となる場合がある。

資料提供：千曲川河川事務所

河川防災ステーション整備スケジュール

※スケジュールについては、各種調査検討や現地整備状況等により変更を伴う。



豊野地区の公共施設の整備について

北

豊野公民館

豊野支所

鶴賀消防署　豊野分署
令和4年5月開署

美濃和田団地

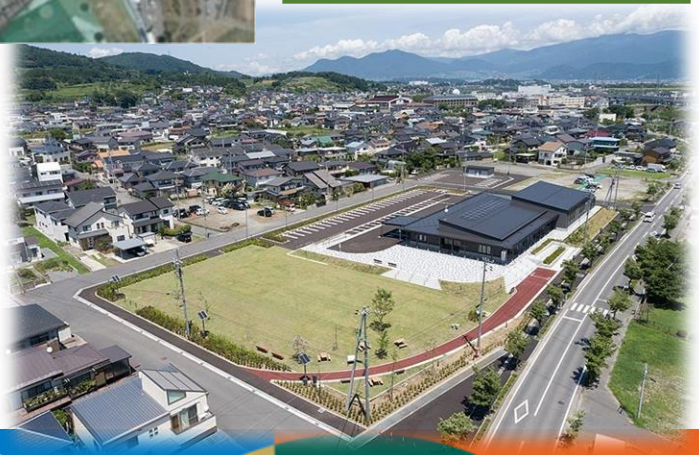
沖団地跡地

浅川

浅野人権同和教育集会所
復旧、耐震化等
令和6年度末竣工予定

豊野防災交流センター
令和6年8月3日供用開始

災害公営住宅　美濃和田団地
令和3年12月供用開始



補助金

復興推進補助金

※補助率10分の9

地区	令和6年度交付額	令和6年度概要
長沼	2,379,794円	自主防災用備品、環境整備用備品、コミュニティ活動備品、まちづくりプロジェクト
豊野	2,271,825円	防災教育・防災備品、自主避難所用備品、環境整備備品、コミュニティ活動備品等
古里	200,000円	防災用デジタル簡易無線機の購入
篠ノ井	570,000円	災害アーカイブ等保管用の備品、復興支援イルミネーションのバージョンアップ等
松代	240,000円	信大との連携による防災人材の育成、避難所開設・運営等に使う備品購入
若穂	100,000円	災害時の非常用電源確保のための発電機の購入
計	5,761,619円	

令和7年度は長沼・豊野の2地区へ補助
長沼地区2,380千円／豊野地区1，730千円

被災地区移住補助金

※被災6地区への転入・転居
※市内から100万円、市外から200万円

申請状況(R7.1.31現在)　　(うち市外)

年度	長沼	豊野	松代	計
令和5年度	2	6(3)		8(3)
令和6年度	1	7(2)	2	10(2)
計	3	13(5)	2	18(5)

令和7年度予算額　5,000千円

○長沼地区と豊野地区への転居、転入者を対象
○市内、市外の区分をなくし、どちらも100万円

復興検討チーム(ワン・ハート)

目　　的

令和元年東日本台風で被災し、被害の大きかった地区の復興(心の復興)を支援する

チームメンバー

<部局横断的に検討>
移住推進課、市民税課、地域活動支援課、長沼支所、豊野支所、商工労働課、スポーツ課、農業政策課、建築指導課、都市計画課、まちづくり課、学校教育課、家庭・地域学びの課、秘書課復興対策室　　※その他必要に応じて追加

R6取組事例

<住民の皆さんと一緒に考える>

長沼地区　まちづくり委員会	豊野地区　まちづくり委員会
➢ 長沼地区地域づくり計画「ホームタウンながぬま(改訂版)」に沿って、具体的な企画、実施 (長沼かるた、ふくりん※スタンプラリー、ホームページリニューアル、めざせ長沼小100人、環境保全・空き地問題、ふくりんでまちづくり、観光協会など)	➢ 豊野防災交流センターの活用 ➢ 豊野まちづくり委員会等が行う具体的な事業の企画、実施 (豊野防災交流センターこけら落とし、コミュニティガーデン、フォトコンテスト、学校連携、おらほのまちの投稿チャンネル、とよのマルシェなど)

※長沼地区のゆるキャラ

復興応援事業

令和元年東日本台風災害から5年の節目の年に復興応援事業を実施することで、被災地区の活性化と市民の防災・減災意識の更なる向上、ボランティアや関係機関などとの絆を繋ぐ

◆日時：令和6年10月6日（日）
◆場所：ビッグハット
◆内容：
①復興物産展
②復興応援ステージ
③災害・復興記録展
④防災展示・体験
⑤令和6年能登半島地震応援ブース
⑥復興スタンプラリー
⑦各地区でのイベントとの連携
⑧その他関連事業との連携

◆来場者　約3,000人
◆市民参加者
　ブース出展　　78ブース、450人
　ステージ出演　12団体、　230人

復興物産展ほか

復興応援ステージ

災害・復興記録展

防災体験

復興計画の進捗

復旧期

発災から概ね２～３年間（令和２年度～令和４年度）は、市民生活や経済活動の再開に不可欠な生活基盤、インフラなどの復旧を迅速かつ確実に進めていきます。

復興期

復旧と並行して、発災から５年間（令和２年度～令和６年度）は、住民や地域等と行政の協働により、地域コミュニティの力を高め、安全・安心のまちづくりを進めるとともに、市内全域に新たな魅力や活力、賑わいが生まれるように取組を進めていきます。

令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
復旧期			復興期	

［ロードマップ］

主な取組	復旧・復興期間					その後	備考
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度～	（具体的な事業等）
(1) 被災地区の復興活動支援							
(2) 住民主体の地域づくりの推進	継続的に実施						
(3) 地域公民館の早期復旧支援	R元年度から５年間						・地域公民館建設等事業補助金（特例措置）

取組内容

令和2年度までの取組

令和5年度までの取組

令和7年度以降も継続する取組

【令和６年度までとしている取組のうち、令和７年度以降も継続する取組の抜粋】

基本方針１

１－１－３　地域コミュニティの再構築・育成

(1) 被災地区の復興活動支援

１－３－１　治水・治山対策

(1-3) 千曲川の河道掘削　ほか

地区別（長沼地区）

公的サービス等の復旧・機能回復

(3) 長沼支所　　ほか

治水対策

(8) 雨水調整池の整備　ほか

復興状況を鑑み、令和7年度以降も、引き続き、支援していく

ONE HEART